

付 属 統 計 表

第1表 入校選考に関する基本的事項の定め方

(M・A)

回 答 肢	都道府県立校	能開センター	障 害 者 校	能 開 短 大
都道府県の条例	82	0	2	1
都道府県からの通達	113	0	2	0
国からの通達	31	3	6	1
事業団からの通達	0	28	0	22
校独自で定めている	49	25	8	2
有効回答数	238	55	18	26

第2表 入校選考に関する細則の定め方

(M・A)

回 答 肢	都道府県立校	能開センター	障 害 者 校	能 開 短 大
訓練課程ごと	122	20	8	17
系又は訓練科ごと	39	21	4	9
訓練コースごと	56	9	0	0
その他	23	4	6	0
有効回答数	235	54	18	26

第3表 応募者の提出書類

(M・A)

訓練コース	入校願書	履歴書	卒業見込証明書	健康診断書	調査書	推薦書	その他	有効回答数
①	93	9	2	27	58	3	30	93
②	190	29	26	72	152	17	22	190
③	17	7	4	16	9	0	8	17
④	223	56	1	150	16	1	23	230
⑤	108	9	4	35	69	3	26	108
⑥	20	4	1	16	11	0	11	20
⑦	26	1	4	25	25	0	0	26
⑧	0	0	0	0	0	0	3	3

第4表 入 校 選 考 の 方 法

(M・A)

訓練コース	学力試験	試験面接	心理学的検査	身体検査	実技検査	その他	有効回答数
①	91	93	13	13	1	10	93
②	180	189	43	28	7	34	190
③	14	17	5	7	5	9	17
④	72	207	73	34	2	49	226
⑤	95	108	32	13	1	19	109
⑥	11	20	5	9	3	10	20
⑦	26	1	0	2	7	1	26
⑧	0	0	0	0	0	1	1

第5表 学力試験の科目

(M・A)

訓練コース	国語	読み書き程度	数 学	簡単な計算	英 語	一般常識	小論文	その他	有効回答数
①	64	26	62	29	0	1	2	8	91
②	143	30	147	31	17	6	11	14	180
③	8	5	8	5	4	1	1	2	14
④	24	34	21	34	2	7	3	12	72
⑤	59	34	58	35	0	2	3	6	95
⑥	3	8	4	7	0	0	1	1	11
⑦	1	0	26	0	26	0	1	2	26
⑧	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第6表 学力試験の所要時間

訓練コース	1時間未満	1時間以上 ～1時間 30分未満	1時間30 分以上～ 2時間未満	2時間以上 ～ 3時間未満	3時間以上	有効回答数
①	11	28	42	10	0	91
②	34	49	67	25	4	179
③	6	3	4	0	0	13
④	33	26	10	0	0	69
⑤	21	19	43	9	1	93
⑥	6	3	2	0	0	11
⑦	0	0	4	18	4	26
⑧	0	0	0	0	0	0

第7表 面接試験の実施目的

(M・A)

訓練コース	回 答 肢						有効回答数
	1	2	3	4	5	6	
①	92	67	46	70	74	5	93
②	186	139	98	159	154	11	189
③	17	15	13	17	17	4	17
④	164	163	78	192	137	9	207
⑤	106	78	58	86	79	9	108
⑥	19	18	15	19	14	3	20
⑦	0	0	0	0	0	0	0
⑧	0	0	0	0	0	0	0

(注) 回答肢

- 1 「学習意欲」「態度」などを判断する。
- 2 「健康状況」を判断する。
- 3 「入寮希望の有無」「自宅からの通所経路」「所要時間」などを判断する。
- 4 「就職意欲」「訓練必要性」を判断する。
- 5 「訓練科選定の理由」「第二志望の有無」などを判断する。
- 6 その他

第8表 面接の実施回数

訓練コース	1 回	2 回	3 回	有効回答数
①	91	1	0	92
②	187	1	0	188
③	13	4	0	17
④	208	1	0	209
⑤	107	0	0	107
⑥	16	2	0	18
⑦	0	0	0	0
⑧	0	0	0	0

第9表 面接の実施方法

(M・A)

訓練コース	回 答 肢					有効回答数
	1	2	3	4	5	
①	72	11	10	0	0	93
②	171	16	7	0	2	189
③	15	3	0	0	0	17
④	151	55	3	2	5	209
⑤	100	5	3	0	1	108
⑥	18	1	0	0	1	19
⑦	0	0	0	0	0	0
⑧	0	0	0	0	0	0

(注) 回答肢

- 1 複数の試験官が志願者1人に面接する。
- 2 1人の試験官が志願者1人に面接する。
- 3 複数の試験官が複数の志願者に集団面接する。
- 4 1人の試験官が複数の志願者に集団面接する。
- 5 その他

第10表 面接の所要時間

訓練コース	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上	有効回答数
①	64	28	1	0	93
②	124	62	3	0	189
③	1	7	5	4	17
④	142	65	1	1	209
⑤	73	34	1	0	108
⑥	4	6	6	3	19
⑦	0	0	0	0	0
⑧	0	0	0	0	0

第11表 実施する心理学的検査

(M・A)

訓練コース	適性検査	興味検査	機能検査	その他	有効回答数
①	13	0	0	0	13
②	42	0	2	1	43
③	3	0	2	2	5
④	71	0	1	2	73
⑤	30	0	2	0	32
⑥	4	1	2	3	5
⑦	0	0	0	0	0
⑧	0	0	0	0	0

第12表 身体検査の検査内容 (訓練コース別)

(M・A)

訓練コース	医師による診断	質問紙による健康診断	体力測定	心身機能の測定	その他	有効回答数
①	4	1	0	2	6	13
②	11	4	1	3	13	28
③	5	2	0	0	0	7
④	19	7	2	2	7	34
⑤	6	1	1	0	6	13
⑥	6	2	2	1	0	9
⑦	2	0	0	0	0	2
⑧	0	0	0	0	0	0

第13表 第二志望の取扱い

(M・A)

訓練コース	第一志望と同等に扱う	欠員があれば受け入れる	認めていない	その他	有効回答数
①	11	56	4	8	79
②	23	124	5	11	171
③	10	5	0	2	17
④	19	127	16	9	169
⑤	14	69	7	8	96
⑥	7	4	4	2	17
⑦	15	10	1	0	26
⑧	0	0	0	0	0

第14表 推薦入校制度の実施状況

訓練コース	現在実施中	過去に実施
①	6	11
②	36	8
③	1	0
④	3	1
⑤	12	9
⑥	0	1
⑦	26	0
⑧	0	0
合計	84	30

第15表 推薦入校制度を採用した理由

(M・A)

訓練コース	回 答 肢					有効回答数
	1	2	3	4	5	
①	4	11	7	4	0	17
②	9	20	30	22	3	44
③	0	1	1	0	0	1
④	0	3	3	3	0	4
⑤	2	12	9	8	2	21
⑥	0	1	0	0	0	1
⑦	14	18	12	15	1	26
⑧	0	0	0	0	0	0

(注) 1 推薦入校制度を現在又は過去に経験した職業能力開発校が対象である。

2 回答肢

- 1 学力試験のみで選考したのでは必ずしも訓練適応者が入校してくることが十分期待できないため
- 2 実施する職業訓練に適する人材を確保するため
- 3 入校予定者を早期に確保するため
- 4 有能な人材（高度な技能・技術が習得可能な者）を確保するため
- 5 その他

第16表 推薦入校制度を開始した時期

訓練コース	昭和48年以前	昭和49年 ～53年	昭和54年 ～58年	昭和59年 ～63年	平成1年 ～5年	有効回答数
①	3	2	4	2	3	14
②	2	4	4	10	22	42
③	0	0	0	0	1	1
④	0	0	0	0	2	2
⑤	5	5	8	1	1	20
⑥	0	0	1	0	0	1
⑦	0	1	6	4	15	26
⑧	0	0	0	0	0	0

(注) 推薦入校制度を現在又は過去に経験した職業能力開発校が対象である。

第17表 推薦入校者の割合

訓練コース	推薦入校は 10%未満	推薦入校は 30%未満	推薦入校は 50%未満	原則として 推薦による	有効回答数
①	0	1	2	1	4
②	1	6	24	3	34
③	0	0	1	0	1
④	1	0	0	1	2
⑤	0	2	1	3	6
⑥	0	0	0	0	0
⑦	0	3	23	0	26
⑧	0	0	0	0	0

(注) 推薦入校制度を現在実施中の職業能力開発校が対象である。

第18表 推薦入校制度下での選考方法

(M・A)

訓練コース	回 答 肢						有効回答数
	1	2	3	4	5	6	
①	0	2	0	0	0	4	5
②	9	9	1	1	7	20	35
③	0	0	0	0	1	0	1
④	0	1	0	0	0	3	4
⑤	0	2	0	0	0	8	8
⑥	0	0	0	0	0	0	0
⑦	0	2	2	0	4	22	26
⑧	0	0	0	0	0	0	0

(注) 1 推薦入校制度を現在実施中の職業能力開発校が対象である。

2 回答肢

- 1 書類選考のみ
- 2 書類選考と面接試験を実施
- 3 面接試験と小論文を実施
- 4 面接試験と実技試験を実施
- 5 書類選考と面接試験及び小論文を実施
- 6 その他

第19表 応募者状況 (平成4年度以降)

(M・A)

訓練コース	回 答 肢						有効回答数
	1	2	3	4	5	6	
①	31	12	15	10	22	17	92
②	34	49	33	20	55	23	185
③	0	2	1	5	1	8	16
④	30	43	12	16	120	15	213
⑤	19	21	14	18	27	18	105
⑥	4	1	2	2	5	5	18
⑦	18	5	0	0	0	2	25
⑧	0	0	0	0	0	1	1

(注) 回答肢

- 1 ほとんどの訓練科で募集者数が定員の2倍以上あり、選択の必要性がある。
- 2 選抜の必要性がない訓練科もあるが、通常訓練科の8割程度は選抜の必要性がある。
- 3 選抜の必要性があるのは訓練科の数で5割程度である。2次募集も実施している。
- 4 選抜の必要性があるのは訓練科の数で3割程度である。2次募集もするが、定員に満たない訓練科も多い。
- 5 訓練生の募集には公共職業安定所の協力を得て、定員を確保している。
- 6 その他

第20表 合否判定会議の構成

訓練コース	回 答 肢				有効回答数
	1	2	3	4	
①	83	7	2	1	93
②	166	21	1	1	189
③	12	3	0	2	17
④	132	72	5	5	214
⑤	86	15	1	3	105
⑥	14	3	0	2	19
⑦	25	0	0	0	25
⑧	0	0	0	0	0

(注) 回答肢

- 1 校長、担当課長、担当指導員等校内部の職員で構成
- 2 校内部の職員の他に公共職業安定所の職員が加わる。
- 3 校内部の職員の他に公共職業安定所の職員、都道府県の職員等が加わる。
- 4 その他

第21表 合否の決定に最も重視されるもの

訓練コース	有効回答数	回 答 肢				
		1	2	3	4	5
①	92	35	53	3	0	1
②	187	93	64	28	0	2
③	16	3	6	4	0	3
④	204	15	57	105	16	11
⑤	101	33	59	6	1	2
⑥	18	3	5	5	2	3
⑦	25	23	2	0	0	0
⑧	0	0	0	0	0	0

(注) 回答肢

- 1 学力試験の結果
- 2 面接試験での学習意欲、態度
- 3 面接試験での就職意欲、訓練必要性
- 4 公共職業安定所等行政からの要請
- 5 その他

第22表 合否決定に二番目に重視されるもの

訓練コース	有効回答数	回 答 肢				
		1	2	3	4	5
①	80	30	32	15	1	2
②	166	41	86	30	7	2
③	14	2	3	7	1	1
④	163	17	58	47	34	7
⑤	87	23	32	22	6	4
⑥	16	2	4	8	0	2
⑦	15	2	12	0	0	1
⑧	0	0	0	0	0	0

(注) 第21表の(注)参照

訓練生の入校選考に関する実態調査

平成 6 年 8 月

職業能力開発大学校 研修研究センター

記入上の留意点について

- 1 専修訓練課程の普通職業訓練で中学卒業者を対象とした訓練コースは、短期課程の普通職業訓練に含め、中学卒業者対象コースとしてください。
- 2 障害者職業能力開発校の入校選考については、一般の身体障害者のほかに新規学卒者や精神薄弱者が入校する場合がありますが、今回の調査においては一般の身体障害者の入校選考に主体をおいてご回答ください。その上で、新規学卒者あるいは精神薄弱者について一般の身体障害者と回答を異にする場合は、各問ごとに欄外の余白に具体的に記入してください。
- 3 短期課程の普通職業訓練及び専門短期課程の高度職業訓練については、今回の調査では、訓練期間が6か月以上の訓練コースのみを対象としてください。
- 4 都道府県立の職業能力開発校では、普通課程の普通職業訓練の中学卒業者対象コース及び高校卒業者対象コース並びに短期課程の普通職業訓練の一般対象コース及び中学卒業者対象コースに該当する場合があります。同様に、障害者職業能力開発校では普通課程の普通職業訓練の障害者対象コース及び短期課程の普通職業訓練の障害者対象コースに、職業能力開発促進センターでは短期課程の普通職業訓練の一般対象コース及び専門短期課程の高度職業訓練の一般対象コースに、職業能力開発短期大学校では専門課程の高度職業訓練の高校卒業者対象コース及び専門短期課程の高度職業訓練の一般対象コースに該当する場合がありますが、実施されているすべてのコースについてご回答ください。

ご回答は、同封の返信用封筒に9月9日(金)までにご回送くださるようお願い申し上げます。

A 公共職業能力開発施設に関する事項

1 施設の名称及び所在地

施設 の 名 称			
所 在 地			

2 記入担当者名及び所属部課

記入担当者名			
所 属 部 課			
電 話 番 号		F A X 番 号	

3 訓練課程及び職業訓練の種類とそれに対応する訓練コース

貴施設に設置されている訓練コースについて該当する番号に○印をつけてください。

訓練課程及び職業訓練の種類	訓 練 コ ー ス
(1) 普通課程の普通職業訓練	① 中学卒業者対象コース
	② 高校卒業者対象コース
	③ 障害者対象コース
(2) 短期課程の普通職業訓練	④ 一般対象コース
	⑤ 中学卒業者対象コース
	⑥ 障害者対象コース
(3) 専門課程の高度職業訓練	⑦ 高校卒業者対象コース
(4) 専門短期課程の高度職業訓練	⑧ 一般対象コース

B 訓練生の入校選考に関する事項

1-1 入校選考について、基本的事項は何によって定められていますか。該当する番号に○印をつけてください。

- 1 都道府県の条例
- 2 都道府県からの通達
- 3 国からの通達
- 4 雇用促進事業団からの通達
- 5 校独自で定めている

1-2 入校選考について、上記基本的事項の細則はどのような単位で定められていますか。該当する番号に○印をつけてください。

- 1 訓練課程ごと
- 2 系又は訓練科ごと
- 3 訓練コースごと
- 4 その他 ()

2 応募者の提出書類についてお伺いします。
該当する欄の番号に○印をつけてください。

訓練コース		応募書類		入校願書	履歴書	卒業見込証明書	健康診断書	調査書	推薦書	その他
		中卒	高卒							
普通課程の普通職業訓練	中卒	1	2	3	4	5	6	7		
	高卒	1	2	3	4	5	6	7		
	障害者	1	2	3	4	5	6	7		
短期課程の普通職業訓練	一般	1	2	3	4	5	6	7		
	中卒	1	2	3	4	5	6	7		
	障害者	1	2	3	4	5	6	7		
専門課程の高度職業訓練	高卒	1	2	3	4	5	6	7		
専門短期課程の高度職業訓練	一般	1	2	3	4	5	6	7		

「その他」の欄の番号に○印をつけた場合は具体的な書類名をご記入ください。

3 訓練生の入校選考の実施についてお伺いします。
該当する欄の番号に○印をつけてください。

訓練コース		応募書類		学力試験	面接試験	心理学的検査	身体検査	実技試験	その他
		中卒	高卒						
普通課程の普通職業訓練	中卒	1	2	3	4	5	6		
	高卒	1	2	3	4	5	6		
	障害者	1	2	3	4	5	6		
短期課程の普通職業訓練	一般	1	2	3	4	5	6		
	中卒	1	2	3	4	5	6		
	障害者	1	2	3	4	5	6		
専門課程の高度職業訓練	高卒	1	2	3	4	5	6		
専門短期課程の高度職業訓練	一般	1	2	3	4	5	6		

「その他」の欄の番号に○印をつけた場合は具体的な書類名をご記入ください。

4-1 入校選考のため、学力試験を実施している施設にお伺いします。

どのような学力試験を実施していますか。該当する欄の番号に○印をつけてください。

学 力 試 験 科 目 等 訓 練 コ ー ス		国語	読 み 書 き 程 度	数 学	簡 単 な 計 算 程 度	英 語	一 般 常 識	小 論 文	そ の 他
普通課程の普通職業訓練	中 卒	1	2	3	4	5	6	7	8
	高 卒	1	2	3	4	5	6	7	8
	障害者	1	2	3	4	5	6	7	8
短期課程の普通職業訓練	一 般	1	2	3	4	5	6	7	8
	中 卒	1	2	3	4	5	6	7	8
	障害者	1	2	3	4	5	6	7	8
専門課程の高度職業訓練	高 卒	1	2	3	4	5	6	7	8
専門短期課程の高度職業訓練	一 般	1	2	3	4	5	6	7	8

「その他」の欄の番号に○印をつけた場合は具体的な科目内容等をご記入ください。

4-2 学力試験の所用時間（学力試験が複数科目実施されている場合は合計時間）はどのくらいですか。該当する欄の番号に○印をつけてください。

所 要 時 間 訓 練 コ ー ス		1 時 間 未 満	1 時 間 以 上 ～ 1 時 間 30 分 未 満	1 時 間 30 分 以 上 ～ 2 時 間 未 満	2 時 間 以 上 ～ 3 時 間 未 満	3 時 間 以 上
普通課程の普通職業訓練	中 卒	1	2	3	4	5
	高 卒	1	2	3	4	5
	障害者	1	2	3	4	5
短期課程の普通職業訓練	一 般	1	2	3	4	5
	中 卒	1	2	3	4	5
	障害者	1	2	3	4	5
専門課程の高度職業訓練	高 卒	1	2	3	4	5
専門短期課程の高度職業訓練	一 般	1	2	3	4	5

5-1 入校選考のため、面接試験（推薦入校鮮度の対象者に対する面接試験は除外してください。5-2、5-3、5-4についても同様です。）を実施している施設にお伺いします。面接試験の実施目的は次のいずれですか。該当するものを回答枝から選び回答欄の該当する番号に○印をつけてください。（複数回答可）

訓練コース		回答欄					
普通課程の普通職業訓練	中卒	1	2	3	4	5	6
	高卒	1	2	3	4	5	6
	障害者	1	2	3	4	5	6
短期課程の普通職業訓練	一般	1	2	3	4	5	6
	中卒	1	2	3	4	5	6
	障害者	1	2	3	4	5	6
専門課程の高度職業訓練	高卒	1	2	3	4	5	6
専門短期課程の高度職業訓練	一般	1	2	3	4	5	6

回答枝

- 1 「学習意欲」、「態度」などを判断する。
- 2 「健康状況」を判断する。
- 3 「入寮希望の有無」、「自宅からの通所経路、所要時間」などを判断する。
- 4 「就職意欲」、「訓練必要性」を判断する。
- 5 「訓練科選定の理由」、「第二志望の有無」などを判断する。
- 6 その他（ ）

5-2 面接は何回実施していますか。該当する欄の番号に○印をつけてください。

訓練コース		面接回数		
		1回	2回	3回以上
普通課程の普通職業訓練	中卒	1	2	3
	高卒	1	2	3
	障害者	1	2	3
短期課程の普通職業訓練	一般	1	2	3
	中卒	1	2	3
	障害者	1	2	3
専門課程の高度職業訓練	高卒	1	2	3
専門短期課程の高度職業訓練	一般	1	2	3

5-3 面接の実施方法は下記のうちいずれですか。該当するものを回答枝から選び回答欄の該当する番号に○印をつけてください。

訓練コース		回答欄				
普通課程の普通職業訓練	中卒	1	2	3	4	5
	高卒	1	2	3	4	5
	障害者	1	2	3	4	5
短期課程の普通職業訓練	一般	1	2	3	4	5
	中卒	1	2	3	4	5
	障害者	1	2	3	4	5
専門課程の高度職業訓練	高卒	1	2	3	4	5
専門短期課程の高度職業訓練	一般	1	2	3	4	5

回答枝

- 1 複数の試験官が志願者1人に面接する。
- 2 1人の試験官が志願者1人に面接する。
- 3 複数の試験官が複数の志願者に集団面接する。
- 4 1人の試験官が複数の志願者に集団面接する。
- 5 その他 ()

5-4 面接所要時間は、どのくらいですか。面接が集団面接で実施された場合は1回（1セット）の面接時間で、また、面接が2回以上実施された場合は、合計時間でお答えください。該当する欄の番号に○印をつけてください。

訓練コース		所要時間			
		10分未満	10分以上 ～ 20分未満	20分以上 ～ 30分未満	30分以上
普通課程の普通職業訓練	中卒	1	2	3	4
	高卒	1	2	3	4
	障害者	1	2	3	4
短期課程の普通職業訓練	一般	1	2	3	4
	中卒	1	2	3	4
	障害者	1	2	3	4
専門課程の高度職業訓練	高卒	1	2	3	4
専門短期課程の高度職業訓練	一般	1	2	3	4

6-1 入校選考の中で、心理学的検査を実施している施設にお伺いします。どのような心理学的検査を実施していますか。該当する欄の番号に○印をつけてください。

訓練コース		検査内容		適性検査	興味検査	機能検査	その他
普通課程の普通職業訓練	中卒			1	2	3	4
	高卒			1	2	3	4
	障害者			1	2	3	4
短期課程の普通職業訓練	一般			1	2	3	4
	中卒			1	2	3	4
	障害者			1	2	3	4
専門課程の高度職業訓練	高卒			1	2	3	4
専門短期課程の高度職業訓練	一般			1	2	3	4

(注) 適性検査は公共職業安定所が実施したものを選考に利用する場合も含まれます。

「その他」の欄の番号に○印をつけた場合は、具体的な検査内容をご記入ください。

6-2 実施している心理学的検査の具体的な名称をお書きください。

7-1 入校選考の中で身体検査を実施している施設にお伺いします。

どのような身体検査を実施していますか。該当する欄の番号に○印をつけてください。

訓練コース		検査内容		医師による 診断	質問紙 による 健康診断	体力測定	心身機能 の測定	その他
普通課程の普通職業訓練	中卒			1	2	3	4	5
	高卒			1	2	3	4	5
	障害者			1	2	3	4	5
短期課程の普通職業訓練	一般			1	2	3	4	5
	中卒			1	2	3	4	5
	障害者			1	2	3	4	5
専門課程の高度職業訓練	高卒			1	2	3	4	5
専門短期課程の高度職業訓練	一般			1	2	3	4	5

「その他」の欄の番号に○印をつけた場合は、具体的な検査内容をご記入ください。

- 7-2 視覚に障害がある場合、どの程度であれば受け入れますか。訓練科によって異なる場合は注記してください。
- 7-3 聴覚に障害がある場合、どの程度であれば受け入れますか。訓練科によって異なる場合は注記してください。
- 7-4 色彩識別能力に障害がある場合、どの程度であれば受け入れますか。訓練科によって異なる場合は注記してください。
- 8 入校選考の中で、実技試験を実施している施設にお伺いします。どのような実技試験を実施していますか。実技試験の内容（例；デッサン、タイプ、製図など）と所要時間及びそれを実施する訓練科名を書き込んでください。

訓練コース	内容等	実技試験の内容	所要時間	訓練科名
普通課程の普通職業訓練	中 卒			
	高 卒			
	障害者			
短期課程の普通職業訓練	一 般			
	中 卒			
	障害者			
専門課程の高度職業訓練	高 卒			
専門短期課程の高度職業訓練	一 般			

- 9 第二志望の取扱いについてお伺いします。該当する欄の番号に○印をつけてください。

訓練コース	内 容	第二志望も 第一志望と 同様に扱う	第二希望の科に 欠員があれば 受け入れる	認めて いない	その他
普通課程の普通職業訓練	中 卒	1	2	3	4
	高 卒	1	2	3	4
	障害者	1	2	3	4
短期課程の普通職業訓練	一 般	1	2	3	4
	中 卒	1	2	3	4
	障害者	1	2	3	4
専門課程の高度職業訓練	高 卒	1	2	3	4
専門短期課程の高度職業訓練	一 般	1	2	3	4

「その他」の欄の番号に○印をつけた場合は、具体的な内容をご記入ください。

10-1 推薦入校制度についてお伺いします。該当する番号に○印をつけてください。

- 1 現在実施している。
- 2 過去に実施したが、現在は実施していない。
- 3 現在に至るまで実施していない。

10-2 10-1で1又は2に回答した施設にお伺いします。推薦入校制度を採用した理由は何ですか。該当するものを回答肢から選び回答欄の該当する番号に○印をつけてください。（複数回答可）

訓練コース		回答欄				
普通課程の普通職業訓練	中卒	1	2	3	4	5
	高卒	1	2	3	4	5
	障害者	1	2	3	4	5
短期課程の普通職業訓練	一般	1	2	3	4	5
	中卒	1	2	3	4	5
	障害者	1	2	3	4	5
専門課程の高度職業訓練	高卒	1	2	3	4	5
専門短期課程の高度職業訓練	一般	1	2	3	4	5

回答肢

- 1 学力試験のみで施行したのでは必ずしも訓練適応者が入校してくることが十分期待できないため
- 2 実施する職業訓練に適する人材を確保するため
- 3 入校予定者を早期に確保するため
- 4 有能な人材（高度な技能・技術が習得可能な者）を確保するため
- 5 その他（ ）

10-3 推薦入校制度を開始した時期はいつですか。該当する欄の番号に○印をつけてください。

訓練コース		時期				
		昭和48年以前	昭和49年～53年	昭和54年～58年	昭和59年～63年	平成1年～5年
普通課程の普通職業訓練	中卒	1	2	3	4	5
	高卒	1	2	3	4	5
	障害者	1	2	3	4	5
短期課程の普通職業訓練	一般	1	2	3	4	5
	中卒	1	2	3	4	5
	障害者	1	2	3	4	5
専門課程の高度職業訓練	高卒	1	2	3	4	5
専門短期課程の高度職業訓練	一般	1	2	3	4	5

10-4 定員に対する推薦入校者の割合はどのように定められていますか。該当する欄の番号に○印をつけてください。

内 容		推薦入校は 10%未満	推薦入校は 30%未満	推薦入校は 50%未満	原則として 推薦による
普通課程の普通職業訓練	中 卒	1	2	3	4
	高 卒	1	2	3	4
	障害者	1	2	3	4
短期課程の普通職業訓練	一 般	1	2	3	4
	中 卒	1	2	3	4
	障害者	1	2	3	4
専門課程の高度職業訓練	高 卒	1	2	3	4
専門短期課程の高度職業訓練	一 般	1	2	3	4

10-5 推薦入校制度の下での選考方法はどのようにしていますか。該当するものを回答肢から選び回答欄の該当する番号に○印をつけてください。

訓 練 コ ー ス		回 答 欄					
普通課程の普通職業訓練	中 卒	1	2	3	4	5	6
	高 卒	1	2	3	4	5	6
	障害者	1	2	3	4	5	6
短期課程の普通職業訓練	一 般	1	2	3	4	5	6
	中 卒	1	2	3	4	5	6
	障害者	1	2	3	4	5	6
専門課程の高度職業訓練	高 卒	1	2	3	4	5	6
専門短期課程の高度職業訓練	一 般	1	2	3	4	5	6

回答肢

- 1 書類選考のみ
- 2 書類選考と面接試験を実施
- 3 面接試験と小論文を実施
- 4 面接試験と実技試験を実施
- 5 書類選考と面接試験及び小論文を実施
- 6 その他 ()

10-6 10-2で2と回答した施設にお伺いします。推薦入校制度を中止した理由を具体的にご記入ください。

11 貴施設での応募者状況はどうですか。平成4年度以降の状況について該当するものを回答肢から選び回答欄の該当する番号に○印をつけてください。

訓練コース		回答欄					
普通課程の普通職業訓練	中卒	1	2	3	4	5	6
	高卒	1	2	3	4	5	6
	障害者	1	2	3	4	5	6
短期課程の普通職業訓練	一般	1	2	3	4	5	6
	中卒	1	2	3	4	5	6
	障害者	1	2	3	4	5	6
専門課程の高度職業訓練	高卒	1	2	3	4	5	6
専門短期課程の高度職業訓練	一般	1	2	3	4	5	6

回答肢

- 1 ほとんどの訓練科で応募者が定員2倍以上あり、選抜の必要性がある。
- 2 一定の不適合者を除けば選抜の必要性がない訓練科もあるが、通常訓練科の数で8割程度は選抜の必要性がある。
- 3 選抜の必要性があるのは、訓練科の数で5割程度である。2次募集も実施している。
- 4 実質的に選抜の必要があるのは訓練科の数の3割程度である。2次募集もするが、定員に満たない訓練科も多い。
- 5 訓練生の募集には公共職業安定所の協力を得て、定員を確保している。
- 6 その他（ ）

12 合否判定のための、合否判定会議はどのような構成になっていますか。該当する欄の番号に○印をつけてください。

内 容		校長、担当課長担当指導員等校内部の職員で構成	校内部の職員他に公共職業安定所の職員が加わる	校内部の職員他に公共職業安定所の職員、都道府県の職員等が加わる	その他
普通課程の普通職業訓練	中 卒	1	2	3	4
	高 卒	1	2	3	4
	障害者	1	2	3	4
短期課程の普通職業訓練	一 般	1	2	3	4
	中 卒	1	2	3	4
	障害者	1	2	3	4
専門課程の高度職業訓練	高 卒	1	2	3	4
専門短期課程の高度職業訓練	一 般	1	2	3	4

「その他」の欄の番号に○印をつけた場合は、具体的な内容をご記入ください。

13-1 一定の不適合者を除いた上での合否の決定の際に貴施設で重視されているものは何でしょうか。該当するものを回答肢から選び、最も重視するものの番号に◎印、次に重視するものの番号に○印をつけてください。

訓 練 コ ー ス		回 答 欄				
普通課程の普通職業訓練	中 卒	1	2	3	4	5
	高 卒	1	2	3	4	5
	障害者	1	2	3	4	5
短期課程の普通職業訓練	一 般	1	2	3	4	5
	中 卒	1	2	3	4	5
	障害者	1	2	3	4	5
専門課程の高度職業訓練	高 卒	1	2	3	4	5
専門短期課程の高度職業訓練	一 般	1	2	3	4	5

回答肢

- 1 学力試験の結果
- 2 面試験での学習意欲、態度
- 3 面接試験での就職意欲、訓練必要性
- 4 公共職業安定所等行政からの要請
- 5 その他 ()

- 13-2 貴施設の合否の判定の仕方について、どのような要素（学力試験、面接試験、小論文、実技試験等）をどのように総合して判定するかを具体的にお書きください。

以上で調査は終わりますが、調査及び入校選考に関してご意見等がございましたら、ざっくばらんに書きください。

ご協力大変ありがとうございました。